

泌尿器疾患啓発パンフレット

医真伝心

Vol. 7

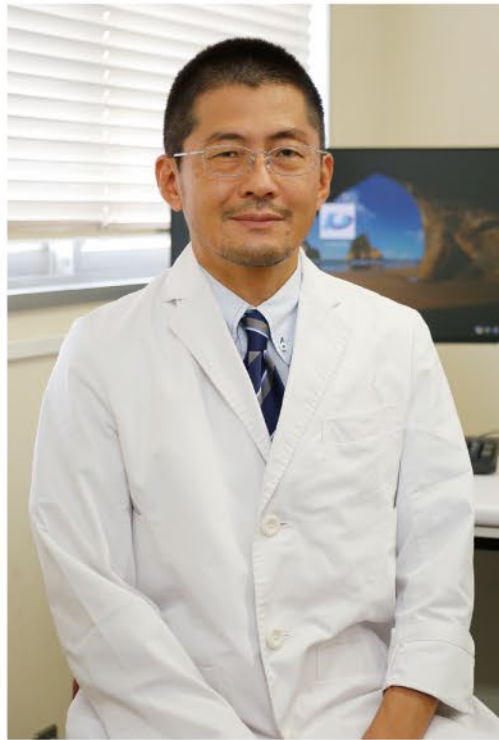
そこまで進んだか
腎がんの治療

高知大学医学部泌尿器科
准教授
辛島 尚

発行：高知大学医学部附属病院泌尿器科
特定非営利活動法人 高知医学研究・教育支援機構

知っちょい
いて!!

そこまで進んだか 腎がんの治療



腎がんとは

腎ぞうは背中にある一対のこぶしくらいの臓器です。尿を作るだけでなく、血圧やミネラルの調節、血液をつくるホルモンの産生などの重要な役割を担っています。腎臓にできる腫瘍には10種類ものタイプがあります。このうち約9割は悪性で、これを総称して「腎がん」と呼びます。国内では毎年約1万人が新たに腎がんと診断されています。肺がんと比べると10分の1程度と多くはないですが、その数は年々増えています。50歳以上の男

性に多く、肥満、高血圧、禁煙、長期間の血液透析が発生の危険因子であることがわかっています。また、稀ではありますが家族性に発生する例もあります。

腎がん、どれくらいの人になるの？ どんなひとになりやすいの？

- ① 年間1万人発症(肺がんは10万人)
- ② 男女比は2:1
- ③ 50歳以上
- ④ 肥満、高血圧、喫煙、透析などが危険因子



腎がんには特徴的な症状はありません。古くは血尿、腹部腫瘍、疼痛の3つが代表的な症状とされていましたが、近年このような症状で腎がんが見つかることは稀で、さらに病気が進むと発熱や体重減少を認めることもあります。最近では70%以上が無症状のうちに画像検査で偶然に見つかります。残念ながら腎がんは血液や尿検査で見つけることはできませんので積極的な画像検査、特に腹部超音波検査が安全で簡便なお勧めです。

科専門医を受診してください。

腎がんの治療

腎がんにおける3つの

治療「手術」「凍結療法」「薬」についてご紹介
します。早期に発見された小さな腫瘍は、病変部だけを切り取り通常の腎臓をできるだけ残す腎部分切除術が、腫瘍が大きくなると片

どのように見つかるの？

- ①腎がん三主徴：血尿、腹部腫瘍、疼痛(数%)
- ②発熱、体重減少
- ③70%以上が無症状で偶然見つかる

血液・尿検査ではわかりません
●画像検査を積極的に受けましょう
(特に超音波検査は有効で安全です)



相手の「がん」です。腎臓を全部とらないのは不安です。近年のがん手術は、がんの根治とともに機能の温存も要求されます。実は、小さな腎がんに対して部分切除術を受けても全摘除術を

精度の高いロボット手術を受けることができます。小さな腫瘍であっても

方の腎臓を全部とり除く腎全摘除術が選択されず。部分切除術も全摘除術も従来の開腹手術から腹腔鏡で行う手術が主流となっています。また、部分切除術においては、より安全で

に負担がかかることで、心筋梗塞や脳卒中によりむしろ早く亡くなることわかつています。ひと昔まえは大きく臓器を切り取ることで、がんは治ったものの臓器

受けてもがんの再発率は同じです。それどころか、全摘除術を受けた方は部分切除術を受けた方と比べて、腎機能の低下により心臓や血管

卒業年1994年(平成6年)
出身大学高知医科大学専門分野
泌尿器悪性腫瘍
▶所属学会、専門医、認定医、資格など

高知大学医学部泌尿器科学講座
講師(准教授、外来医長)

辛島尚先生
からしまたかし

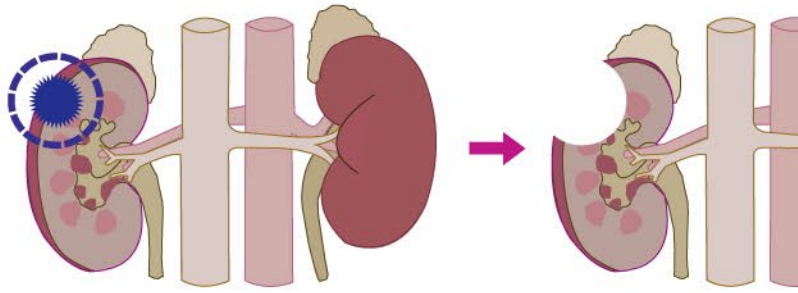
●所属学会

- 日本泌尿器科学会
- 日本泌尿器腫瘍学会
- 日本癌治療学会
- 日本癌学会
- 日本がん転移学会
- 日本がん分子標的治療学会
- 日本泌尿器内視鏡学会
- 日本内視鏡外科学会
- 日本透析医学会

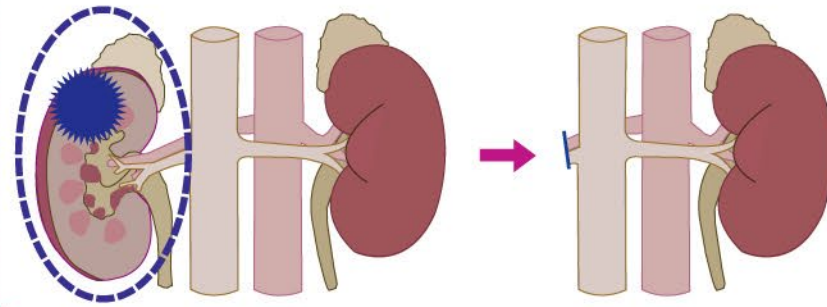
皆さんの病態で異なりますので、泌尿器

手術で治す

●小さい腎がんはがんのところだけ取る



●大きい腎がんは腎臓を全部取る



*腹腔鏡やロボット手術ができます

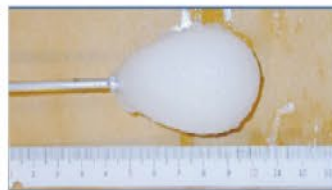
機能を著しく失い、それがもとで結局長生きできていなかったことになります。

残念ながら持病や年齢で麻酔や手術を受けられない、もしくはどうしても手術を受けたくない患者さんもおられます。そのような方には、切らずに治す、「凍結療法」を選択することができます。局所麻酔下に、画像で確認しながら皮膚から腫瘍に向かって針を刺します。針先を超低温にするこ

とで、写真のように針の周囲にきれいな円形の氷玉を作り腫瘍を凍らせます。全身麻酔が不要で、おなかを切る必要がない、繰り返し何度

切らずに治す

●大きい腎がんは腎臓を全部取る



でもできるなどの利点がありますが、小さな腫瘍に限定されます。

-
-
-

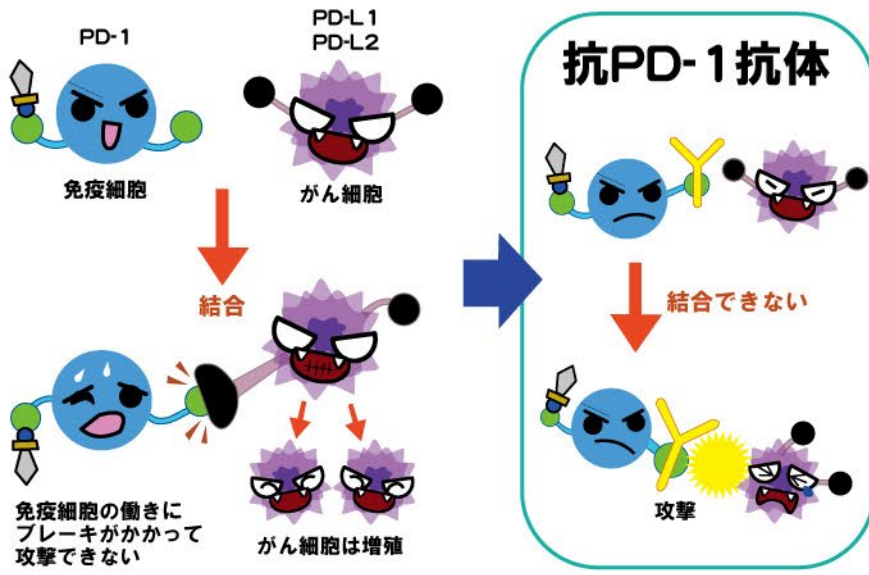
腎がんにたいする薬の治療においては古くから免疫療法が有効で、いわゆる抗がん剤や放射線の効果は乏しい

ことが知られています。免疫「めんえき」とは、疫病を免れるという意味で「免疫」という言葉が使われるようになったそうです。新型コロナウイルスの影響で、免疫という言葉も一般的になりましたが、かつての人々にとっての病とは感染

腎がんの治療法や予防法は患者

薬で治す

免疫チェックポイント阻害薬の仕組み



*使う際は主治医の先生と十分にご相談ください

症であり、免疫は外部からの侵略者と戦う戦士の役割をします。一方で、免疫には内部からの反乱分子をも撃退する憲兵の役割も担っている

ます。自分の体の細胞からつくられる「がん」は、いわば内乱といったところですが、私たちが「がん免疫」の仕組みを

持っています。では、何故がん免疫を持ちながらがんになってしまうのでしょうか。「一説によると、私たちの体の中では毎日5000個ものがん細胞が生み出されては、その都度がん免疫により全戦全勝で制御されているといわれています。しかし、タバコや不適切な生活習慣で作られるがん細胞の数が増え、同時に免疫力が低下すると敗戦の確立が上がってきます。こうしてがん免疫の検疫を逃れた、たった1個のがん細胞が10年後に大きな塊「がん」として発見されるのです。一方で、免疫は高いほど良いわけではありません。過剰な免疫は、私たちの正常な細胞までも敵として攻撃してしまいます。自己免疫疾患や膠原病といわれる病気がそれにあたります。私たちの体には、急激なアクセルを踏むとブレーキが掛かる免疫自動運転装置があり、アクセルとブレーキのバランスをとることで免疫が暴走しない仕組みを備えています。最近になって、このブレーキ役の物質が解明され、この仕組みは「免疫チェックポイント」と命名されました。がん細胞は免疫ブレーキをより強く効かせる物質を過剰に出します。つまり「免疫チェックポイント」機構を巧みに利用することでがん免疫からの攻撃を逃れようとする

します。そこで免疫ブレーキが効かないようにすることで、がん免疫のアクセルを加速する薬である「免疫チェックポイント阻害薬」が開発されました。この薬にがん細胞を直接攻撃する抗がん剤のような作用は一切ありません。自身のがん免疫を効率よく働かせることで、自らの力でがんを克服する理想の薬とも言えます。最近では、複数の免疫チェックポイント阻害薬の組み合わせや他の薬との併用で有効性をさらに増す治療が行われています。一方で、免疫ブレーキを弱めるので免疫が暴走する危険性を秘めています。つまり、自身の正常細胞を敵とみな



して攻撃を始める、前記した膠原病と同じ現象が起こる副作用がしばしば認められます。どのような薬にも一定の副作用があります。通常は休薬することですみやかに副作用から逸脱できます。しかし、免疫は記憶を持ちますの

で、これが仇となり休薬によっても副作用から逃れられないことがあります。いずれにせよ強い副作用が出た場合は早く対処することが重要です。一方、副作用が出た患者さんにおいて治療効果が高い傾向があることも解っています。

メッセージ

- ①禁煙、血圧、体重
- ②超音波検査
- ③部分切除術や凍結療法で根治と機能温存の両立を目指しましょう
- ④薬の知識と理解が大切です



最後に

禁煙、塩分やカロリーを控えた食事で血圧や体重のコントロールをすることでがん細胞を作らない、また心身ともに健やかに過ごし免疫力を下げないことが大切です。腎がんの発見は血液や尿検査では出来ませんので、積極的に腹部

超音波検査などの画像検査を受けましょう。早期に見つけることができれば腎臓を残す手術や凍結療法で根治と機能温存をすることが出来ます。薬を使う際は、患者さん自身の知識と理解、自己管理が何より大切です。



〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部附属病院泌尿器科

TEL.088-880-2402 FAX.088-880-2404

E-mail : urology@kochi-u.ac.jp

URL:http://www.kochi-ms.ac.jp/~hs_urol/